

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年8月10日発行

— 2017.7.31～2017.8.6—第31週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第28週	第29週	第30週	第31週
水痘		6 0.60	1 0.20	1 0.50	1 0.33	1 0.20		3 0.11	13 0.22	757		○	レ	
流行性耳下腺炎	2 0.40	12 1.20	6 1.20					4 0.15	24 0.41	405		○	レ	
百日咳						1 0.2		1 0.04	2 0.03	10				
感染性胃腸炎	37 7.40	33 3.30	15 3.00	18 9.00	15 5.00	14 2.80		132 4.89	264 4.47	9,600	◎	◎	◎	◎
手足口病	43 8.6	28 2.8	75 15.00	10 5.00	20 6.67	35 7.00	10 5.00	300 11.11	521 8.83	1710	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	2 0.4					1 0.20		1 0.04	4 0.07	115				
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	4 0.80	1 0.50	3 1.00	3 0.60		18 0.67	34 0.58	1,051	○	レ	レ	○
ヘルパンギーナ	2 0.4	11 1.1	8 1.60	7 3.50	20 6.67	2 0.40		39 1.44	89 1.51	315	○	○	○	◎
インフルエンザ									0 0.00	27,049				
咽頭結膜熱		8 0.80						31 1.15	39 0.66	1,292	◎	◎	◎	○
流行性角結膜炎		4 1.33						1 0.17	5 0.42	88				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	32 3.20	6 1.20	1 0.50	1 0.33	14 2.80		22 0.81	88 1.49	5,212	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00				2 0.40	4 0.33	152				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	4 0.80	22 2.20	8 1.60	2 1.00		2 0.40		120 4.44	158 2.68	811	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	4	3	7				1					
	川崎病													
	不明発疹症	1							3					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名
仙台管内 女性3名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)

塩釜管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O157)
塩釜管内 男性1名、女児1名※(第30週)
仙台管内 男性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)
栗原管内 男性1名、女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
仙台管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 男性1名
仙南管内 男性1名
登米管内 男性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
塩釜管内 男性1名
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*E.aerogenes*)
仙台管内 女性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名(第30週)
梅毒
仙台管内 男性1名(第30週)
※女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

塩釜管内のO121関連 第30週採取分 O121 1件
塩釜管内のO157関連 第30週採取分 O157 1件
栗原管内のO26関連 第30週採取分 O26 2件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第28週採取分 アデノウイルス41型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定	第29週採取分	第30週採取分
	第28週採取分	(7.24～7.30)	(7.31～8.6)
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	0件	1件
RSウイルス	6件	3件	6件
アデノウイルス	1件	0件	1件
ライノウイルス	0件	1件	1件
サイトメガロウイルス	2件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス(1型)	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	7件	4件	5件
パラインフルエンザウイルス(4型)	1件	1件	0件

* パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。

** 第28週からRSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【ヘルパンギーナ】

例年、夏季に流行がみられる小児の急性ウイルス咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的なものです。発熱や口腔粘膜の水疱性発疹などが主な症状です。原因は、エンテロウイルス属のA群コクサッキーウイルスの感染によるものが多くみられます。今週、登米管内で警報値を超えました。主な感染経路は、患者の咳やくしゃみを吸い込むことなどによりですが、便中に排出されたウイルスが手等を介して口に入ることもあります。ウイルスは、急性期に多く排出されますが、症状が治まった後でも2～4週間程度排出されるとの報告もありますので、咳エチケットやこまめな手洗いなど感染予防に努めてください。

【手足口病】

今週、塩釜を除く7保健所管内で警報値を超え、患者の増加傾向が続いています。県では、先週、注意喚起を行いました。引き続き小さな子供のいる家庭では、食事の前や排せつ後の石けんと流水による十分な手洗いなど感染予防に努めてください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼管内で警報値を超えた
大崎管内、仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報値を超えた

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

